

HP Cloud Service Automation

リリースノート

ソフトウェアバージョン: 4.00、2014年1月

このリリースノートでは、HP Cloud Service Automation (HP CSA) の 4.00 リリースに向けて行われた変更内容について、マニュアルやオンラインヘルプには記載されていない重要な項目を説明します。

本バージョン

HP Cloud Service Automation (HP CSA) は、クラウドコンピューティング環境において、自動化されたサービスの提供および管理を目的にした HP 製品を統合するソフトウェアです。統合製品の詳細については、『HP Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。

HP Cloud Service Automation 環境が優れたパフォーマンスと安定性を発揮できるように、次のタスクを完了してからインストールを開始してください。

- 各コンポーネント製品でサポートされるハードウェアとソフトウェアが、インストールの最小要件を満たしていることを確認します。
- 関連パッチとパッチリリースのホットフィックスが、コンポーネント製品に適用済みであることを確認します。
- リリースノートで、各コンポーネント製品に追加の変更内容や制限事項がないか確認します。

インストールノート

インストール要件については、『HP Software Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。HP Cloud Service Automation のインストールと構成の手順については、『HP Cloud Service Automation インストールガイド』を参照してください。

ドキュメント

HP CSAのドキュメントは、[HPソフトウェア製品マニュアルWebサイト](#)にあります。

目次

本リリースでの修正	4
HP Cloud Service Automation (HP CSA)	4
ソリューション全般	4
利用可能なメモリリソースがMBでなくKB単位で計算される	4
クラウドサービス管理コンソール	4
アップロードした画像の名前が不必要に変更される	4
名前付きグループテンプレートの自動承認/否認値が正しく表示されない	4
相対DNを使用して名前付きグループ承認ポリシーを作成できない	4
大きいアーカイブをインポートする際のパフォーマンスの問題	4
LDAPベースDNが構成されていないとパフォーマンスが低下する	4
サービスデザインまたはリソース提供のインポートが失敗してもログに情報が記録されない	4
組織の表示名の成功メッセージが不適切な場合がある	4
プロバイダタイプの変更に画像を変更すると、変更内容が保存されていないように見える	5
オンラインヘルプ	5
クラウドサービス管理コンソールのヘルプに、ルートサービスコンポーネントをパターンとしてマークすることに関する情報が記載されていない	5
クラウドサービス管理コンソールのヘルプに、リソースプール内のリソースプロバイダーのリソースをモデル化する方法に関して不完全な情報が記載されている	5
クラウドサービス管理コンソールのヘルプに、ライフサイクル状態に基づくアクションの[エラー時に失敗]のデフォルトが記載されていない	5
HP CSA API	5
相対DNを使用して名前付きグループ承認ポリシーを作成できない	5
REST APIを使用したときに新しいサービス提供のオーダープロセスが予期したとおりに動作しない	6
HP CSAとの統合	6
VMware vCenter	6
vCenterに対する[サーバーの追加]アクションが失敗し、コンシューマーポータルに新しいサーバーが作成されたことが示される	6
既知の問題、制限事項、回避方法	7
HP Cloud Service Automation (HP CSA)	7
ソリューション全般	7
FIPSモードで、HP CSAが起動せず、ログファイルにNoSuchAlgorithmExceptionが記録される	7
プロビジョニングの完了後、トポロジデザインで、共有ボリュームグループが1つのサーバーグループにしかアタッチされない	7
CSAデータベースを再起動すると、クラウドサービス管理コンソールとマーケットプレイスポータルに問題が発生する	7
次のフローに関するサブスクリプション要求が失敗する:Update SA Server Id on CSA OO	7
インポートしたサービス提供の添付ドキュメントが、マーケットプレイスポータルとクラウドサービス管理コンソールに表示されない	8
CAC対応環境でクラウドサービス管理コンソールまたはマーケットプレイスポータルにログインすると、「Webpage not available (Webページを利用できません)」というメッセージが表示される	8
インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール	8
setup.exeの名前を変更できない	8
プロセスをアンインストールしても、インストールディレクトリが削除されない	8
クラウドサービス管理コンソール	9
Chromeで空白のページが表示されることがある	9
Chromeで、一部の管理コンソール領域にあるSWFコンテンツが、その部分にユーザーが移動するたびに再ロードされる	9
ブラウザーの複数のタブからクラウドサービス管理コンソールにログインする場合の問題	9
Firefoxで[システムのプロキシ設定を利用する]を選択した場合に発生する通信エラー	10
データベースに大量のトランザクションデータ(サブスクリプション)が存在する場合、インプレース更新インポートプロセスのパフォーマンスが低下する	10
IEでセキュリティ強化の構成(ESC)を有効にすると、クラウドサービス管理コンソールが正しく表示されないかまたは動作しなくなる	10
Service Designerで無効なURL値が受け入れられる場合がある	10
サービス提供にドキュメントを追加しても、ファイルの検索ダイアログボックスが開かない	11
サービス提供の作成後にトポロジデザインを変更すると、変更内容がサービス提供に反映されない	11
トポロジデザインで[新規ルーターの作成]オプションを選択するとプロビジョニングが失敗する	11
トポロジデザイナーにアクションタイムアウトを設定するオプションがない	11
複数のドキュメントやスクリーンショットをサービス提供に追加すると、エラーが発生する	11
Ubuntuでブラウザーを開いてクラウドサービス管理コンソールにアクセスすると、一部の領域で英語以外の文字表示に問題が発生する	12
ライフサイクルアクションを追加する操作で、CSA内部プロセスエンジンが2つ表示されることがある	12
リソース使用の候補だったリソースプロバイダーを削除できない	12
トポロジデザインでセキュリティグループが重複する問題	12
クラウドサービス管理コンソールの[カタログ]領域で承認アクションを管理できない	13
Internet Explorerで、タグの表示名や説明の変更が保存されない	13
サービス提供を[提供]領域から発行した後、その承認ポリシーを[承認が不要]に変更しても、承認を要求される	13

マーケットプレイスポータル	14
マーケットプレイスポータルで表示される最小値/最大値チェックのメッセージに誤りがある	14
マーケットプレイスポータルのサービスの詳細ビューで、ボリュームグループを持つサービスのボリュームタイプが正しく表示 されない	14
マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースにすでに追加したセキュリティグループを選択できる	15
マーケットプレイスポータルで、VMネットワークインタフェースに追加されていないセキュリティグループを削除できる	15
マーケットプレイスポータルで、ボリューム名の入力プロパティのラベルが正しく表示されない	15
マーケットプレイスポータルで、チェックアウト時に非表示のオプションのコストが表示されない	15
サブスクリプションをキャンセルした後、マーケットプレイスポータルが応答しなくなる	16
マーケットプレイスポータルの[サーバーグループへのボリュームグループの追加]パブリックアクションが動作する条件に 制限がある	16
マーケットプレイスポータルがトポロジデザインのパブリックアクション用に動的な値をロードする際、csa.logにエラーが記録される	16
WindowsにHP CSAをインストールした後、マーケットプレイスポータルの起動でエラーが発生する	16
ログイン画面のトークンの有効期限が切れると、マーケットプレイスポータルにログインできなくなる	17
マーケットプレイスポータルでは、サブスクライバーの通知がローカライズされていない	17
マーケットプレイスポータルで[すべてキャンセル]を選択するとエラーが発生する	17
「アクセスが拒否されました」というメッセージの後に[ダッシュボードに戻る]をクリックすると、CSA Consumerのログイン ページに移動する	17
サブスクリプションの終了日に過去の日付が選択可能になる	18
サブスクリプションの[終了日]が、[開始日]の次の日として表示される	18
サブスクライバーオプションのリストプロパティをクラウドサービス管理コンソールで無効にしても、マーケットプレイス ポータルで有効になる	18
[サービストポロジの表示]ページで、サブスクライバーには非表示にするべきプロパティが表示される	19
インストールおよびアップグレードガイド	19
生成したPDFの書式の問題	19
オンラインヘルプ	19
コンポーネントパレットのインポートとエクスポートで、クラウドサービス管理コンソールのヘルプにリソースバインドと リソース提供に関する情報が表示されない	19
HP CSA API	20
コンテンツの切り捨てが原因でREST APIログインが失敗する	20
プリミティブの値を指定しないと値がデフォルトにリセットされる	20
アーティファクトREST APIが、detail=FULLはサポートされないというエラーを返す	20
コンシューマー組織へのREST APIログインで大量のデータが返される	21
HP CSAとの統合	21
HP ArcSight Logger	21
HP CSA server.logとArcSight Loggerの統合が正しく機能しない	21
HP ArcSight Loggerの構成エントリがlog4j.propertiesに無い	21
HP ArcSightとHP Operations Orchestration (HP OO) 10.xを統合できない	22
HP Cloud OS	22
HP Cloud OS 1.2でインスタンスを終了しても、HP CSAマーケットプレイスポータルやクラウドサービス管理コンソールに 反映されない	22
HP CSAを再起動すると、SSLを有効にしたHP Cloud OSリソースプロバイダーでトポロジデザインを作成またはプロビジョニング できなくなる	22
HP Matrix Operating Environment (HP MOE)	23
HP MOEサブスクリプションが "No server pools are available to user" というエラーで失敗する	23
HP Operations Orchestration (HP OO)	23
HP Cloud Service (HP CS) – OPENSTACKサービスのサブスクリプションが失敗し、状態が[保留中]と表示される	23
リソース同期アクションを実行するとHP OOでエラーメッセージが表示される	23
HP SiteScope (HP SiS)	24
サービスデザインMOE_COMPUTE_SITESCOPE_UCMDB_3.20のサブスクリプションをキャンセルしても、HP Operations Orchestrationで一部のHP Sitescopeモニターが削除されない	24
VMware vCenter	24
vCenterサービスデザインで、2つのライフサイクルアクションが同時に実行される	24

本リリースでの修正

HP Cloud Service Automation (HP CSA)

ソリューション全般

利用可能なメモリリソースがMBでなくKB単位で計算される

QCCR1D166103

問題

同期アクションを実行したときに、メモリの値が MB でなく KB 単位で更新されます。

クラウドサービス管理コンソール

アップロードした画像の名前が不必要に変更される

QCCR1D165188

問題

クラウドサービス管理コンソールから画像ライブラリに画像をアップロードすると、バックエンドによって画像の名前が変更されます。

名前付きグループテンプレートの自動承認/否認値が正しく表示されない

QCCR1D165915

問題

[名前付きグループテンプレート] 承認ポリシーの [自動承認/否認] フィールドを編集すると、変更された値がクラウドサービス管理コンソールに正しく表示されません。ただし、データベースには正しい値が保存されます。

相対DNを使用して名前付きグループ承認ポリシーを作成できない

QCCR166062

問題

相対 DN をグループとして追加して名前付きグループ承認ポリシーを作成しようとすると、例外が発生します。

大きいアーカイブをインポートする際のパフォーマンスの問題

QCCR1D166288

問題

大きいアーカイブ (> 1.5MB) をインポートする際にパフォーマンスの問題が発生します。インポートがハングするか、長時間かかることがあります。

LDAPベースDNが構成されていないとパフォーマンスが低下する

QCCR1D164711

問題

クラウドサービス管理コンソールの [組織] 領域で、組織の LDAP ベース DN が指定されていない場合、ベース DN を構築するために HP CSA から余分の LDAP 呼び出しが発生するため、HP CSA のパフォーマンスが低下することがあります。

サービスデザインまたはリソース提供のインポートが失敗してもログに情報が記録されない

QCCR1D149805

問題

サービスデザインまたはリソース提供のインポート時にエラーが発生した場合、HP CSA ログファイルでエラーの詳細を参照しても、ログファイルには必要な情報が記録されていない場合があります。

組織の表示名の成功メッセージが不適切な場合がある

QCCR1D165689

問題

HP クラウドサービス管理コンソールで組織の表示名を変更する場合、成功メッセージが現在の実装に対して不適切であり、混乱を招くおそれがあります。組織の表示名が正常に変更されると、次のメッセージが表示されます。

本リリースでの修正

Organization Display Name has changed. (組織の表示名が変更されました) Please update the consumer portal configuration (csp.properties) with new Organization Identifier (コンシューマーポータル構成 (csp.properties) を新しい組織 ID で更新してください)

コンシューマーポータル構成 (csp.properties) を新しい組織 ID で更新してくださいという要求に意味があるのは、csp.properties ファイルで次のプロパティがコメントでなく有効になっている場合のみです。

```
csa.consumer.orgName=CSA_CONSUMER
```

上記のプロパティが csp.properties ファイルですでにコメントアウトされている場合、HP クラウドサービス管理コンソールで組織の表示名を変更しても、これを構成する必要はありません。

プロバイダタイプの編集に画像を変更すると、変更内容が保存されていないように見える

QCCR1D142191

問題

[リソース管理] タブで、プロバイダタイプに関連付けた画像を変更すると、変更内容が正しく保存されていないように見えます。保存操作は正しく行われますが、ログアウト後も古い画像が表示されます。

オンラインヘルプ

クラウドサービス管理コンソールのヘルプに、ルートサービスコンポーネントをパターンとしてマークすることにに関する情報が記載されていない

問題

サービスデザインでは、ルートサービスコンポーネントノードをパターンとしてマークすることはできません。

クラウドサービス管理コンソールのヘルプに、リソースプール内のリソースプロバイダのリソースをモデル化する方法に関して不完全な情報が記載されている

問題

リソースプール内のリソースプロバイダのリソースをモデル化する方法に関する次の説明が、管理コンソールのヘルプに記載されていません。

リソースプール内のプロバイダのリソースをモデル化する場合、次の2つの方法のどちらかを使用する必要があります。

- リソースプロバイダの1つのリソースプールが、このプロバイダで HP CSA に割り当て可能なすべてのリソースをモデル化する方法。
- リソースプロバイダの複数のリソースプールのそれぞれが、プロバイダで利用可能な全リソースの一部をモデル化する方法。たとえば、プロバイダで 2000GB のストレージが利用可能な場合、そのプロバイダに関連するすべてのリソースプールのストレージタイプのリソースの [CSA での合計利用可能量] の合計は、2000GB 以下である必要があります。

クラウドサービス管理コンソールのヘルプに、ライフサイクル状態に基づくアクションの [エラー時に失敗] のデフォルトが記載されていない

問題

HP CSA 3.20 より前には、どのライフサイクル状態で作成されたアクションでも、[エラー時に失敗] のデフォルトの選択は true でした。HP CSA 3.20 では、デプロイ解除、予約解除、初期化解除の状態で作成されたアクションの場合、[エラー時に失敗] のデフォルトの選択は false です。デフォルトの選択が変更された理由は、サービスの解除時に「エラーがあっても続行」処理をサポートするためです。この変更は新規作成されるアクションだけに影響します。既存のアクションには影響しません。[エラー時に失敗] の値はすべてのライフサイクル状態で引き続き設定可能であり、必要に応じて変更できます。

HP CSA API

相対DNを使用して名前付きグループ承認ポリシーを作成できない

QCCR166063

問題

相対 DN をグループとして追加して名前付きグループ承認ポリシーを作成しようとすると、例外が発生します。

本リリースでの修正

REST APIを使用したときに新しいサービス提供のオーダープロセスが予期したとおりに動作しない

QCCR166223

問題

REST API を使用してサービス提供を作成する場合、サービス提供のオプションモデル ID が要求の本文の ORDER アクションプロパティに指定されていると、新しいサービス提供が作成されます。ただし、この新しいサービス提供のオーダープロセスは、予期したとおりに動作しない場合があります。

HP CSAとの統合

VMware vCenter

vCenterに対する [サーバーの追加] アクションが失敗し、コンシューマーポータルに新しいサーバーが作成されたことが示される

QCCR1D165209

問題

vCenter に対する [サーバーの追加] アクションが失敗すると、コンシューマーポータルに新しいサーバーコンポーネントが作成されたことが示されます。

既知の問題、制限事項、回避方法

HP Cloud Service Automation (HP CSA)

ソリューション全般

FIPSモードで、HP CSAが起動せず、ログファイルにNoSuchAlgorithmExceptionが記録される

QCCR1D163384

問題

Oracle JDBC Thin Driver (ojdbc6.jar) は、java.security ファイルに別の暗号化プロバイダーが指定されていると、Oracle に SSL モードで接続できません。

原因

Oracle JDBC Thin Driver (ojdbc6.jar) は、java.security ファイルに別の暗号化プロバイダーが指定されていると、SSL モードをサポートしません。詳細情報は、Oracle サポートサイト (<https://support.oracle.com/>) に記載されています。この問題に関しては当社から Sev2 サービス要求が提出されています。SR 番号は Oracle.SR 3-6995008521 です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。ソリューションは、Oracle が Oracle Thin JDBC Driver に関する Enhancement Request (ER) 16794055 を実装した時点で利用可能となります (詳細については、Oracle サポートホームページで SR 3-6995008521 をチェックしてください。サポートホームページは <https://support.oracle.com/> です)。

プロビジョニングの完了後、トポロジデザインで、共有ボリュームグループが1つのサーバーグループにしかアタッチされない

QCCR1D176960

問題

単一のボリュームグループに複数のサーバーグループを接続し、これを含むトポロジデザインでサービスインスタンスのプロビジョニングを行うと、プロビジョニングの完了後、ボリュームグループは1つのサービスグループのみにアタッチされます。

原因

製品の制限です。

回避方法

各ボリュームグループを、それぞれ一意のサーバーグループに割り当てます。

CSAデータベースを再起動すると、クラウドサービス管理コンソールとマーケットプレイスポータルに問題が発生する

QCCR1D147907

問題

CSA サービスが稼動している状態で CSA データベースを再起動すると、クラウドサービス管理コンソールとマーケットプレイスポータルでさまざまな問題が発生します。たとえば、データベースの再起動後しばらくの間、ログインしようすると、サービスを利用できないことを伝えるエラーメッセージがマーケットプレイスポータルに表示されます。ログインに成功しても、マーケットプレイスポータル内を移動すると、エラーメッセージが表示されることがあります。管理コンソールも同様に、データベースの再起動後しばらくの間ログインできなくなり、その後はコンソールの操作中にエラー (500 エラーなど) が表示されます。また管理コンソールでは、ログアウト後、すぐにはログインできないことがあります。

原因

CSA データベースの再起動が安全な方法で処理されていません。

回避方法

CSA サービスを再起動します。

次のフローに関するサブスクリプション要求が失敗する: Update SA Server Id on CSA OO

QCCR1D177545

問題

[Update SA Server Id on CSA] OO フローは、HP OO 10.x で実行すると成功しますが、成功したことを HP CSA で認識できないことがあります。これが原因で、フローを呼び出すアクションが1時間後にタイムアウトし、このアクションに関するサブスクリプション要求が失敗します。この問題が発生するのは、サービスデザイン

VCENTER_COMPUTE_SA_SOFTWARE_POLICIES_3.20 と、HP ADM または HP DMA に関連するサービスデザインです。

原因

不明です。この問題は、断続的に発生します。

既知の問題、制限事項、回避方法

回避方法

問題を回避する方法はありません。

インポートしたサービス提供の添付ドキュメントが、マーケットプレイスポータルとクラウドサービス管理コンソールに表示されない

QCCR1D178143

問題

HP CSA 3.20 からエクスポートしたサービス提供を HP CSA 4.00 にインポートすると、そのサービス提供に添付されているドキュメントがマーケットプレイスポータルに表示されません。クラウドサービス管理コンソールでは、ドキュメント名が空白で表示されます。

原因

CSA の旧バージョンで作成したサービス提供のインポート処理に不具合があります。

回避方法

サービス提供をインポートした後、クラウドサービス管理コンソールの [提供] 領域で添付ドキュメントの表示設定と名前を手動で変更します。サービス提供の [ドキュメント] タブに、ドキュメントがサムネイルで表示されます。各サムネイルの左上角にあるアイコンをクリックすると、ドキュメントの表示を切り替えることができます。各サムネイルの右下角にあるアイコンをクリックすると、ドキュメントの名前を指定できます。

CAC対応環境でクラウドサービス管理コンソールまたはマーケットプレイスポータルにログインすると、「Webpage not available (Webページを利用できません)」というメッセージが表示される

QCCR1D177398

問題

CAC 対応環境でクラウドサービス管理コンソールまたはマーケットプレイスポータルにログインしようとする、「Webpage not available (Web ページを利用できません)」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されるのは、証明書をブラウザに登録した状態で、カードリーダーにカードが挿入されていない場合です。カードの挿入を指示するプロンプトが表示され、PIN の入力が求められます。指示に従うと UI が表示されるはずですが、UI は表示されず「Webpage not available (Web ページを利用できません)」というメッセージが表示されます。

原因

この問題が発生するのは、複数のブラウザで同時にクラウドサービス管理コンソールまたはマーケットプレイスポータルにアクセスしようとする場合であり、複数の SSL 接続を確立しようとしてタイムアウトが発生することが原因です。

回避方法

ブラウザページを再ロードすると問題が解決することがあります。問題が解決しない場合は、ブラウザの実行インスタンスを確認し (タスクマネージャーなど)、ブラウザプロセスを終了して、ブラウザを新しく開き、クラウドサービス管理コンソールとマーケットプレイスポータルに再度アクセスします。

インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール

setup.exeの名前を変更できない

QCCR1D142364

問題

Windows®でインストーラファイル名が setup.exe 以外の場合、HP CSA インストーラーは、HP CSA をインストールする前にメッセージを表示しないで終了します。

原因

HP CSA で使用するバージョンの InstallAnywhere で発生する既知の不具合です。

回避方法

HP CSA Windows インストーラープログラムの名前が setup.exe であることを確認してから実行します。一部のブラウザでは、重複するファイル名があると、自動的にファイル名を変更することがあります。たとえば、setup (1).exe などに変更されません。このような場合、HP CSA インストーラーの名前を setup.exe に戻してから実行してください。

プロセスをアンインストールしても、インストールディレクトリが削除されない

QCCR1D174113

問題

Windows マシンで HP CSA をアンインストールしても、<CSA ホーム>_CSA_4_0_0_installation ディレクトリが削除されません。この問題は、HP CSA インストールプロセスで Oracle JRE を選択した場合に発生します。

既知の問題、制限事項、回避方法

原因

インストールの不具合です。

回避方法

アンインストールを行い、<CSA ホーム>ディレクトリ内に残っているフォルダーを手動で削除します。

クラウドサービス管理コンソール

Chromeで空白のページが表示されることがある

QCCR1D155822

問題

Chrome で、クラウドサービス管理コンソールの一部分に空白ページが表示されることがあります。

原因

Chrome にバンドルされている Flash Player の一部のバージョンで発生する問題が原因です。

回避方法

Chrome の URL フィールドに「chrome://plugins」と入力します。**[詳細]** をクリックすると、各プラグインの詳細情報が表示されます。Flash という見出しの下に、エントリが複数存在する場合は、Chrome の Flash Player のエントリを探してください。**[場所]** フィールドに、AppData\Local\Google\Chrome のようなパスが表示されています。そのプラグインの **[無効にする]** をクリックします。

最新の Flash Player を次のサイトからダウンロードします。

http://download.macromedia.com/pub/flashplayer/current/support/install_flash_player.exe

インストールが完了したら、Chrome を再起動し、URL フィールドに「chrome://plugins」と入力します。Chrome の Flash Player が無効になっていることと、新しくインストールした Flash Player が有効になっていることを確認します。

Chromeで、一部の管理コンソール領域にあるSWFコンテンツが、その部分にユーザーが移動するたびに再ロードされる

QCCR1D148227

問題

Chrome でクラウドサービス管理コンソールにアクセスすると、SWF ファイルを必要とする領域 (組織、カタログ、リソース、デザインの一部とコンポーネントの一部) にユーザーが移動するたび、SWF ファイルが再ロードされます。

原因

HTTPS Web サイトの SSL 証明書が設定されているが、その Web サイトがブラウザーによって信頼されていない場合、Chrome は HTTPS Web サイトから SWF を再ロードします。

回避方法

CA が署名した証明書を HP CSA で使用する設定を行います。詳細については、HP CSA のインストールおよび構成ガイドを参照してください。

ブラウザーの複数のタブからクラウドサービス管理コンソールにログインする場合の問題

QCCR1D147470

問題

複数のブラウザータブからそれぞれ異なるユーザー資格情報を使用してクラウドサービス管理コンソールにログインすると、さまざまな問題が発生します。

複数のタブから別の HP CSA ユーザーでログインすると、最後にログインしたユーザーのアクセス権限が、現在開いているすべてのブラウザータブに適用されます。したがって、ユーザーがアクションを実行しようとしても、最後にログインしたユーザーにアクセス権限がない場合、エラーメッセージが表示されます。

原因

複数のタブからのログインは適切に処理されません。

回避方法

クラウドサービス管理コンソールへのログインには、ブラウザータブを 1 つのみ使用してください。タブを複数使用する場合は、すべて同じユーザーでログインしてください。ログインユーザーの切り替えは、まずログアウトしてから、別のユーザーでログインします。

既知の問題、制限事項、回避方法

Firefoxで [システムのプロキシ設定を利用する] を選択した場合に発生する通信エラー

QCCR1D143336

問題

一部のネットワーク環境では、クラウドサービス管理コンソールへのログイン直後に Firefox で通信エラーが発生することがあります。このエラーは、Cloud Service Automation サービスが停止またはアクセス不能になった場合に発生する通常の通信エラーではありません。

原因

一部のネットワーク環境では、[システムのプロキシ設定を利用する] を選択すると、FireFox は CSA と通信できなくなります。

回避方法

Firefox のネットワーク設定を、[システムのプロキシ設定を利用する] 以外の方法を使用するように設定します。たとえば、手動でプロキシを設定するオプションまたはプロキシ設定を自動検出するオプションを選択します。Firefox 14 でこの設定を行うには、[ツール]>[オプション]>[詳細]>[ネットワーク]>[接続設定] を選択します。

データベースに大量のトランザクションデータ (サブスクリプション) が存在する場合、インプレース更新インポートプロセスのパフォーマンスが低下する

QCCR1D165072

問題

データベースに大量のトランザクションデータ (サブスクリプション) がある場合、サービス提供、デザイン、カタログのインポート (インプレース更新オプションを使用) の応答時間が長くなることがあります。

原因

大量のトランザクションデータによってパフォーマンスが低下します。

回避方法

パフォーマンスへの影響を減らすため、システムの負荷が低い時間にインポート更新を実行します。

IEでセキュリティ強化の構成 (ESC) を有効にすると、クラウドサービス管理コンソールが正しく表示されないかまたは動作しなくなる

QCCR1D165813

問題

Internet Explorer のセキュリティ強化の構成を有効にした状態でクラウドサービス管理コンソールを表示すると、管理コンソールが正しく表示されなくなることや、動作しなくなることがあります。Internet Explorer 10 または 11 では、管理コンソールにアクセスすると画面に何も表示されないことがあります。Internet Explorer 9 では、エクスポートが正しく機能しないことがあります。

原因

IE でセキュリティ強化の構成を有効にすると、クラウドサービス管理コンソールを正しく表示できなくなります。

回避方法

セキュリティ強化の構成を有効にしたシステムで IE からクラウドサービス管理コンソールにアクセスするには、次のいずれかのオプションを選択してください。

- オプション 1: HP CSA を信頼済みサイトとして追加します (IE で [インターネットオプション] > [セキュリティ] > [信頼済みサイト] > [サイト] を選択し、https://<CSA ホスト名>を追加)。
- オプション 2: HP CSA をローカルイントラネットゾーンとして追加します (IE で [インターネットオプション] > [セキュリティ] > [ローカルイントラネット] > [サイト] を選択し、https://<CSA ホスト名>を追加)。
- オプション 3: IE ESC を無効にします (Windows® の [サーバーマネージャ] で IE ESC を無効にします)。

Service Designerで無効なURL値が受け入れられる場合がある

QCCR1D165628

問題

クラウドサービス管理コンソールの Service Designer では、オプションモデルでプロパティを作成する際に URL 値を検証できません。ただし、URL 値の検証に使用される正規表現では、無効な URL 値 ('http:', 'http://', 'http:///', 'hhh:////' など) の作成が許可されます。

原因

HP CSA が URL 値の検証に使用する正規表現は、IANA に公式に登録された広範囲の方式を検証するため、一部の無効な URL 値を検出できない場合があります。

既知の問題、制限事項、回避方法

回避方法

さらに具体的な URL 検証を行うには、クラウドサービス管理コンソールの Service Designer でカスタム正規表現を作成します。

サービス提供にドキュメントを追加しても、ファイルの検索ダイアログボックスが開かない

QCCR1D176520

問題

Firefox バージョン 20 では、サービス提供にドキュメントを添付できません (クラウドサービス管理コンソールの [提供] 領域にある [ドキュメント] タブ)。

原因

上記バージョンの Firefox では、この機能は正しく動作しません。

回避方法

最新バージョンの Firefox に更新するか、HP CSA をサポートする他のブラウザを使用します。

サービス提供の作成後にトポロジデザインを変更すると、変更内容がサービス提供に反映されない

QCCR1D174068

問題

サービス提供をデザインから作成した後、トポロジデザインに変更を加えると、サービス提供とトポロジデザインが同期しないことがあります。これによってクラウドサービス管理コンソールでエラーが発生し、プロビジョニングでもエラーが発生することがあります。

原因

トポロジデザインからサービス提供を作成すると、デザインの一部の項目 (プロファイルや変更可能なプロパティなど) が提供にコピーされます。サービス提供の作成後にデザインでこの項目を変更すると (プロファイルの追加や削除、プロパティの変更が可能かどうかの属性)、変更内容は既存のサービス提供に同期されません。

回避方法

デザインでサービス提供を作成した後は、トポロジデザインでプロファイルや変更可能なプロパティを変更しないようにします。このような変更が必要な場合は、デザインをコピーし、コピーに対して変更を行ってください。

トポロジデザインで [新規ルーターの作成] オプションを選択するとプロビジョニングが失敗する

QCCR1D176038

問題

トポロジデザインに、ネットワークセグメントとルーターの接続コンポーネントがある場合、このコンポーネントで既存のサブネットを使用する設定を行っていると、ルーターの新規作成は複数回数実行できなくなります。

原因

Cloud OS では、1つのサブネット上でルーターを複数作成できません。

回避方法

トポロジデザインでは、ネットワークセグメントで既存のサブネットを再利用する設定と、ルーターの [新規ルーターの作成] オプションを同時に指定することはできません。ネットワークセグメントの [新規サブネットの作成] オプションと [新規ルーターの作成] を組み合わせてください。

トポロジデザイナーにアクションタイムアウトを設定するオプションがない

QCCR1D176668

問題

トポロジベースのサブスクリプションのプロビジョニングでは、HP Cloud OS との通信タイムアウトは 60 分に設定されており、変更できません。これに対してシーケンススペースのデザインのアクションでは、各アクションのタイムアウトを設定できます。

原因

製品の制限です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

複数のドキュメントやスクリーンショットをサービス提供に追加すると、エラーが発生する

QCCR1D177456

既知の問題、制限事項、回避方法

問題

Internet Explorer 9 でクラウドサービス管理コンソールにアクセスし、サービス提供に複数のドキュメントまたはスクリーンショットを追加すると、次のエラーが発生します。

```
com.hp.ccue.consumption.svc.svc-exception$exception.svc.required.missing
```

原因

サードパーティライブラリのバグが原因でエラーが発生します。

回避方法

次のオプションのいずれかを選択してください。

- 新しいバージョンの Internet Explorer を使用します。
- 別のブラウザ (Chrome または Firefox) を使用します。
- ファイルを 1 つずつ追加します。

Ubuntuでブラウザを開いてクラウドサービス管理コンソールにアクセスすると、一部の領域で英語以外の文字表示に問題が発生する

QCCR1D177819

問題

Ubuntu でブラウザを開いてクラウドサービス管理コンソールを実行すると、ロケールが英語以外の場合、一部の領域で文字が正しく表示されません。

原因

Ubuntu システムの問題であり、Flash コンテンツの英語以外の文字で発生します。

回避方法

Ubuntu 以外のシステム (Windows など) でブラウザを使用します。

ライフサイクルアクションを追加する操作で、CSA内部プロセスエンジンが2つ表示されることがある

QCCR1D177579

問題

クラウドサービス管理コンソールでライフサイクルアクションを追加すると、「CSA Internal」という名前のプロセスエンジンが2つ表示されます。

原因

トポロジベースのデザインをデプロイすると、「CSA Internal」という名前のプロセスエンジンがもう1つ作成されます。

回避方法

クラウドサービス管理コンソールでライフサイクルアクションを追加する際には、表示名が「内部プロセスエンジン」の「CSA Internal」プロセスエンジンを選択します。これは、シーケンスデザインで使用可能な内部アクションを含むプロセスエンジンです。

リソース使用の候補だったリソースプロバイダーを削除できない

QCCR1D177145

問題

[リソースプロバイダーリストの構築] アクションまたは [リソースプロバイダーおよびプールリストの構築] アクションの実行時、シーケンスデザインのプロビジョニングでの候補だったリソースプロバイダーは、[リソースプロバイダーの選択] アクションや [リソースプロバイダーおよびプールの選択] アクションで選択されていない場合でも削除できません。

原因

サービスのプロビジョニングでは、候補のリソースプロバイダーへの参照はすべてサービスインスタンスに保存されます。アクティブなサービスインスタンスがプロバイダーを参照している限り、そのプロバイダーは削除できなくなります。

回避方法

リソースプロバイダーが候補になっていたサブスクリプションをすべてキャンセルすると、そのプロバイダーは削除可能になります。

トポロジデザインでセキュリティグループが重複する問題

QCCR1D178056

問題

クラウドサービス管理コンソールでトポロジデザインを作成するときに、ネットワークセグメントとサーバーグループが存在し、さらにその2つが接続されている場合、[ネットワークインタフェース] の接続に使用するセキュリティグループを選択するプロンプトが表示されます。Cloud OS 内の複数のプロジェクトに同名のセキュリティグループが存在する場合、[セキュリティグループ] ドロップダウンリストには、既存のセキュリティグループが重複して表示されます。この状態で重複したセキュリティグループの1つを選択しても、そのセキュリティグループがどの Cloud OS プロジェクトに関連付けられているのかは不明です。

既知の問題、制限事項、回避方法

HP CSA で Cloud OS リソースプロバイダーに設定されているプロジェクト (リソースプロバイダーのテナントプロパティで指定) とは別のプロジェクトのセキュリティグループを選択してしまうと、サービスのデプロイメントは失敗します。

さらに、マーケットプレイスポータルでは、[セキュリティグループの追加] パブリックアクションでセキュリティグループの選択が可能になります。マーケットプレイスポータルでは重複したセキュリティグループを除外しますが、必要なグループが除外されてしまう可能性もあります (CSA での Cloud OS リソースプロバイダーの設定とは異なるプロジェクト/テナントのセキュリティグループ)。サブスクライバーが CSA で Cloud OS リソースプロバイダーに設定されているプロジェクト/テナントとは別のセキュリティグループを選択すると、[セキュリティグループの追加] アクションは失敗します。

原因

Cloud OS が返すセキュリティグループのリストには、CSA で Cloud OS リソースプロバイダーに設定されているプロジェクトのセキュリティグループだけでなく、Cloud OS 内のすべてのプロジェクトのセキュリティグループも含まれています。このリストは、クラウドサービス管理コンソールまたはマーケットプレイスポータルでプロジェクトごとにフィルター処理されることはありません。

回避方法

クラウドサービス管理コンソールのトポロジデザイナーとマーケットプレイスポータルの [セキュリティグループの追加] アクションでは、セキュリティグループ名に「**default**」という名前を使用しないでください。Cloud OS でセキュリティグループを作成するには、他の Cloud OS プロジェクトと重複しない名前を付けるようにしてください。管理コンソールで [ネットワークインタフェース] の値を設定する際と、マーケットプレイスポータルで [セキュリティグループの追加] アクションのセキュリティグループを指定する際には、Cloud OS プロジェクトに存在することがわかっているセキュリティグループを選択してください。

クラウドサービス管理コンソールの [カタログ] 領域で承認アクションを管理できない

QCCR1D178174

問題

クラウドサービス管理コンソールでサービス提供を発行する際、[カタログ] 領域と [提供] 領域で異なるレベルの承認設定が存在します。[提供] 領域では、[オーダー]、[変更]、[キャンセル] の各アクションについて、どのアクションに承認が必要かを設定できます (承認を設定した場合)。[カタログ] 領域にはこの設定はなく、[カタログ] 領域から発行された提供については、[オーダー] と [変更] で承認が必要になりますが、[キャンセル] では不要になります (設定済みの場合)。さらに、[提供] 領域では、関連付けられているデザインのパブリックアクションの中で承認が必要なものを設定できます。この設定は [カタログ] 領域にはなく、[カタログ] 領域から発行した提供のパブリックアクションは承認を必要としません。[提供] 領域から発行する際に、承認が必要なアクションを選択しても、[カタログ] 領域では表示されず、編集もできません。

原因

製品の制限です。

回避方法

承認のデフォルト動作 ([オーダー] と [変更] には承認が必要だが [キャンセル] は不要) を変更する必要がある場合は、[提供] 領域から提供を発行します。

Internet Explorerで、タグの表示名や説明の変更が保存されない

QCCR1D178165

問題

Internet Explorer でクラウドサービス管理コンソールにアクセスしてタグの [表示名] や [説明] を編集し、[保存] をクリックしても、変更内容が反映されません。特に、[表示名] フィールドや [説明] フィールドをクリックし ([Tab] キーは使用しない)、値を入力してから [保存] をクリックすると、入力した値は保存されません。

原因

サードパーティライブラリの不具合が原因です。

回避方法

この問題は、Chrome や Firefox では発生しません。Internet Explorer でこの問題を回避するには、[表示名] フィールドまたは [説明] フィールドを何回かクリックして青くハイライトされたことを確認、または [Tab] キーで [表示名] または [説明] フィールドに移動しフィールドが青くハイライトされたことを確認してから、[保存] をクリックします。

サービス提供を [提供] 領域から発行した後、その承認ポリシーを [承認が不要] に変更しても、承認を要求される

QCCR1D178192

既知の問題、制限事項、回避方法

問題

クラウドサービス管理コンソールのカタログで**アクティブ**な承認プロセスと承認ポリシーが指定されている状態で、ユーザーが [提供] 領域からこのカタログにサービス提供を発行し、承認ポリシーを **[承認が不要]** に変更しても、変更要求に承認が必要なままになります。

原因

製品の不具合です。

回避方法

サービス提供のデフォルトの承認プロセスとポリシーを上書きする必要がある場合は、[カタログ] 領域からサービス提供を発行します。

マーケットプレイスポータル

マーケットプレイスポータルで表示される最小値/最大値チェックのメッセージに誤りがある

QCCR1D177555

問題

マーケットプレイスポータルでは、チェックアウト、サービスの変更、サービスアクションの実行でさまざまな入力データの検証を行います。整数値とテキスト長の最小値と最大値のチェックもその1つです。入力値が条件 (サービスデザインで設定) を満たしていない場合、ユーザーに誤ったメッセージが表示されます。たとえば、最小値が 10 の場合、次のようなメッセージが通知されます。

Must be greater than 10. (10 より大きな値を指定してください。)

正しいメッセージは次の通りです。

Must be greater than or equal to 10. (10 以上の値を指定してください。)

この問題は、整数値とテキスト長の最大値/最小値に関するメッセージで発生します。

原因

メッセージカタログ内のメッセージに誤りがあります。

回避方法

1. このメッセージが表示された場合、「以上の値」と解釈するようにユーザーに伝えます。
2. マーケットプレイスポータルのメッセージカタログの内容を変更します。次の場所に格納されています。

<CSA ホーム>/portal/node_modules/mpp-ui/dist/locales

メッセージカタログは、サポートされている言語 ("en" など) ごとに JSON 形式で格納されています。変更が必要なメッセージは、"common" > "validation" の下にあります。次のメッセージが変更の対象になります。

```
{{min}}より大きくする必要があります  
{{max}}より小さくする必要があります  
{{min}}文字よりも長くする必要があります  
{{max}}文字よりも短くする必要があります
```

次のように、正しいメッセージに変更します。

```
{{min}}以上にする必要があります  
{{max}}以下にする必要があります  
{{min}}文字よりも長くする必要があります  
{{max}}文字よりも短くする必要があります
```

他の言語 ("zh" など) でも同様の変更が必要です。

マーケットプレイスポータルのサービスの詳細ビューで、ボリュームグループを持つサービスのボリュームタイプが正しく表示されない

QCCR1D177646

問題

マーケットプレイスポータルのサービスの詳細ビューで、ボリュームグループを持つサービスの [ボリュームタイプ] が正しく表示されません。[ボリュームタイプ] の HP Cloud OS での内部 ID が表示されますが、判読できません。

既知の問題、制限事項、回避方法

原因

HP Cloud OS が割り当てる [ボリュームタイプ] の内部 ID は、判読可能な HP CSA の名前に変換されません。

回避方法

マーケットプレイスポータルでこの問題を回避する方法はありません。[ボリュームタイプ] の判読可能な名前は、HP Cloud OS 管理ダッシュボードで確認できます。

マーケットプレイスポータルで、VM ネットワーク インタフェース にすでに追加した セキュリティ グループ を選択 できる

QCCR1D177361

問題

Cloud OS トポロジデザインから作成したサービスでは、マーケットプレイスポータルの [セキュリティグループの追加] アクションにより、VM ネットワーク インタフェース にすでに追加されているセキュリティグループを選択できます。ドロップダウンリストには、割り当てられていないセキュリティグループのみが表示されるべきです。

原因

HP Cloud OS から取得したセキュリティグループのリストが、正しくフィルター処理されません。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

マーケットプレイスポータルで、VM ネットワーク インタフェース に追加されていない セキュリティ グループ を削除 できる

QCCR1D177360

問題

Cloud OS トポロジデザインから作成したサービスでは、マーケットプレイスポータルの [セキュリティグループの削除] アクションにより、VM ネットワーク インタフェース にすでに追加されているセキュリティグループを選択できます。ドロップダウンリストには、VM ネットワーク にすでに割り当てられているセキュリティグループのみが表示されるべきです。

原因

HP Cloud OS から取得したセキュリティグループのリストが、正しくフィルター処理されません。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

マーケットプレイスポータルで、ボリューム名 の入力 プロパティ のラベル が正しく 表示 されない

QCCR1D176945

問題

Cloud OS トポロジデザインから作成したサービスでは、マーケットプレイスポータルに [サーバーグループへのボリュームグループの追加] アクションが表示されるが、入力パラメーター名にボリューム名ではなくボリューム ID が表示される

原因

このアクションに対する入力プロパティのラベルが正しく表示されません。

回避方法

ラベルの表示は正しくありませんが、このアクションの機能には影響しません。この入力のドロップダウンリストにはボリューム名が表示され、ユーザー入力にはボリューム名として処理されます。

マーケットプレイスポータルで、チェックアウト時に非表示のオプションのコストが表示されない

QCCR1D177308

問題

チェックアウト時に、マーケットプレイスポータルに非表示のオプションのコストは表示されませんが、価格のサマリーには反映されています。サブスクライバーが基本価格に選択したオプションの価格を加算すると、合計金額が合わなくなることがあります。

原因

クラウドサービス管理コンソールでは、サービス提供をデザインする際に、サービスコンシューマーに対してオプションを表示しない設定が可能です。このようなオプションは、サービス提供のデザイン時に事前に選択しておくことができ、価格も設定することが可能です。したがって、このような提供をサブスクライブすると、事前設定したオプションがチェックアウト時に自動選択されますが、オプションの内容は表示されず、オプションの価格もわかりません。マーケットプレイスポータルには、選択されているが非表示になっているオプションの価格情報が反映されているので合計金額には加算されますが、表示上は計算が合いません。

既知の問題、制限事項、回避方法

回避方法

サービス提供のデザイナーは、価格の設定時に、サブスクリイパーに対して表示しない設定を行っている事前選択オプションを適用しないようにします。

サブスクリプションをキャンセルした後、マーケットプレイスポータルが応答しなくなる

QCCR1D177494

問題

HP Cloud OS ベースのサブスクリプションをキャンセルすると、HP Cloud OS 管理ダッシュボードやマーケットプレイスポータルがしばらく応答しなくなります。サブスクリプションを複数同時にキャンセルすると、この状態が発生しやすくなります。

原因

製品の不具合です。

回避方法

一時的に遅延が発生しますが、UIは復帰します。

マーケットプレイスポータルの [サーバーグループへのボリュームグループの追加] パブリックアクションが動作する条件に制限がある

QCCR1D177615

問題

HP Cloud OS のトポロジデザインからサービスを作成した場合、マーケットプレイスポータルでこのサービスに表示される [サーバーグループへのボリュームグループの追加] パブリックアクションは、非常に限られた条件でしか動作しません。

原因

サーバーグループ内のサーバー数は、このアクションの呼び出し時に追加されるボリュームの数と一致しなければなりません。ただし、[ボリューム ID] ドロップダウンではボリュームを複数選択できません。したがって、このアクションが成功するのは、サーバーグループ内のサーバーが 1 つのみの場合に限定されてしまいます。さらに、HP Cloud OS でボリュームを作成し、サーバーグループに関連付けられない状態にしておく必要があります。このアクションの実行時には、このような状態のボリュームしか選択できないためです。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

マーケットプレイスポータルがトポロジデザインのパブリックアクション用に動的な値をロードする際、csa.logにエラーが記録される

QCCR1D176876

問題

マーケットプレイスポータルで、HP Cloud OS トポロジデザインから作成したサービスに対して [フローティング IP アドレスの割り当て] パブリックアクションの入力ダイアログが表示されると、csa.log にエラーが記録されます。例:

```
ERROR ActionParameterServiceImpl :Fetching dynamic values failed
java.lang.IllegalStateException:Expanded url
'http://10.10.10.10:21051/1/resource_pool_list/65/network_list/${network_ref}/floating_ip_list'
contains not expanded placeholders '[network_ref]'
```

原因

製品の不具合です。

回避方法

このログメッセージは無視しても問題ありません。

WindowsにHP CSAをインストールした後、マーケットプレイスポータルの起動でエラーが発生する

QCCR1D172298

問題

Windows に HP CSA をインストールした後、マーケットプレイスポータルを起動できず、ユーザーがマーケットプレイスポータルにログインできなくなることがあります。

原因

マーケットプレイスポータルサービスを起動するスクリプトで断続的にエラーが発生します。

回避方法

[コントロールパネル] > [管理ツール] > [サービス] を選択し、Marketplace Portal サービスが稼働しているかどうかを確認します。HP Marketplace Portal サービスが実行されていない場合、サービスを開始します。サービスは実行中だが、Web ブラウザーからマーケットプレイスポータルにアクセスできない場合は、サービスを再起動します。

既知の問題、制限事項、回避方法

ログイン画面のトークンの有効期限が切れると、マーケットプレイスポータルにログインできなくなる

QCCR1D 174988

問題

マーケットプレイスポータルのユーザーがログインページにアクセスし、長時間操作せずに待機してからログインを試行すると、トークンの期限切れを通知するメッセージが表示されます。この時点でユーザーはトークンを更新できなくなるので、ログインページから移動して、新しいトークンを取得しなければなりません。

原因

マーケットプレイスポータルでは、ID 管理サービスを使用してユーザー認証を行います。トークンが生成されると、ユーザーは ID 管理サービスのログインページにリダイレクトされます。セキュリティ上の理由から、トークンには有効期限があり、デフォルトでは 60 分です。トークンの有効期限が切れた後ユーザーがログインすると、ID 管理サービスはユーザーをブロックし、ID 管理サービスにリダイレクトされる前のアプリケーションに戻ることを指示します (この場合はマーケットプレイスポータル)。

セキュリティ上の理由から、ID 管理サービスはユーザー用にトークンを新しく作成できないので、元の場所 (この場合はマーケットプレイスポータル) に戻り、新しいトークンを取得するように指示します。

回避方法

ユーザーは、マーケットプレイスポータルの起動ページ (組織ごとに異なります) に戻る必要があります。例:

https://mpp-host:8089/org/CSA_CONSUMER

これにより、新しいトークンが生成され、ID 管理サービスのログインページにリダイレクトされるので、そこでログインできるようになります。

マーケットプレイスポータルの URL にブックマークを設定しないことをお勧めします (期限切れのトークンが URL に含まれます)。ブックマークは、マーケットプレイスポータルのメイン URL に設定してください。次に例を示します:

https://mpp-host:8089/org/CSA_CONSUMER

マーケットプレイスポータルでは、サブスクリバラーの通知がローカライズされていない

QCCR1D177158

問題

マーケットプレイスポータルでは、サブスクリバラーに送信される通知が、クライアントブラウザのロケールに基づいてローカライズされません。

原因

製品の制限です。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

マーケットプレイスポータルで [すべてキャンセル] を選択するとエラーが発生する

QCCR1D177900

問題

マーケットプレイスポータルのユーザーが [すべてキャンセル] 要求を発行すると、複数の HP Cloud OS ベースサブスクリプションが同時にキャンセルされますが、一部のサブスクリプションでキャンセルが失敗したことを示すステータスが誤って表示されます。

原因

HP Cloud OS で複数のサブスクリプションを同時にキャンセルすると、HP Cloud OS のパフォーマンスが低下します。これによって HP CSA が同じサブスクリプションに対してキャンセル要求を複数発行してしまい、その結果キャンセル要求が失敗します。

回避方法

実際にキャンセル要求は HP Cloud OS で成功していますが、HP CSA では失敗したと表示されることがあります。キャンセルが成功していることを HP Cloud OS で確認したら、HP CSA のサブスクリプションを削除できます。また、複数のサブスクリプションを同時にキャンセルしなければ、この問題は発生しません。

「アクセスが拒否されました」というメッセージの後に [ダッシュボードに戻る] をクリックすると、CSA Consumerのログインページに移動する

QCCR1D178075

問題

ユーザーがマーケットプレイスポータルにログインして CSA Consumer 以外の組織にアクセスする場合、ユーザーがその組織の Service Consumer ロールに所属していないと、[アクセスが否認されました] というページが表示されます。[ダッシュボードに戻る] ボタンをクリックすると、CSA Consumer 組織へのログインページが表示され、最初に指定した組織のログインページは表示されません。

既知の問題、制限事項、回避方法

原因

認証が無効である場合、マーケットプレイスポータルには、ユーザーが最初に要求した組織は記録されません。その結果、ダッシュボードに戻るリンク（これによってログインシーケンスがトリガーされます）をクリックすると、デフォルトの CSA Consumer 組織にアクセスすることになります。

回避方法

CSA Consumer 以外のコンシューマー組織を使用する場合、マーケットプレイスポータルに戻るときは [ダッシュボードに戻る] リンクではなく、組織固有の URL を使用するようにユーザーに指示してください。

サブスクリプションの終了日に過去の日付が選択可能になる

QCCR1D178181

問題

マーケットプレイスポータルで定期サブスクリプションを期間サブスクリプションに変更する場合、[終了日] に一部（または完全に）過去の日付を選択可能になります。[終了日] に指定できる値は、サブスクリプションの [開始日] と、クラウドサービス管理コンソールの [組織] 領域にあるコンシューマー組織で設定されている [サブスクリプション終了期間 (月単位)] によって決まります。

この問題が発生しやすいのは、CSA の旧バージョンで作成してから 4.0 にアップグレードしたサブスクリプションです。

原因

期間サブスクリプションで指定できる [終了日] は、[開始日] からその 12 か月後までの範囲であり、組織で設定されている [サブスクリプション終了期間 (月単位)] にはあまり依存しません。定期サブスクリプションを期間サブスクリプションに変更しても、[開始日] に影響しません。

回避方法

[終了日] がすべて過去の日付の場合、定期サブスクリプションから期間サブスクリプションに変更しないようにします。期間サブスクリプションが必要な場合は、新しいサブスクリプションを作成し、開始日と終了日を設定してください。

サブスクリプションの [終了日] が、[開始日] の次の日として表示される

QCCR1D178176

問題

マーケットプレイスポータルで定期サブスクリプションを作成し、サブスクリプションを変更すると、[終了日] が [開始日] の 1 日後の日が表示されます。画面上はサブスクリプションが期限切れになり、サブスクライバーの誤解を招く可能性があります。

HP CSA 3.20 から CSA 4.00 へのアップグレードにより、3.20 Cloud Subscriber ポータルで終了日を指定していなかったサブスクリプションは、マーケットプレイスポータルで定期サブスクリプションになります。このサブスクリプションを変更すると、上記のような現象が発生します。

原因

マーケットプレイスポータルのデフォルトでは、ユーザーが定期サブスクリプションを変更する場合、[開始日] の 1 日後が [終了日] として表示されます。

回避方法

[終了日] に誤った日付が表示されても、定期サブスクリプションでは無視されるので、サブスクリプションが期限切れになることはありません。ただし、サブスクリプションを期間サブスクリプションに変更する場合には、[終了日] を未来の日付に設定するようにしてください。

サブスクライバーオプションのリストプロパティをクラウドサービス管理コンソールで無効にしても、マーケットプレイスポータルで有効になる

QCCR1D178237

問題

クラウドサービス管理コンソールの [シーケンスデザイン] 領域でサブスクライバーオプションのリストプロパティを作成するとき、[値の入力方法] が [動的クエリ]、[複数選択] が有効で、かつこのプロパティを **必須ではない** とマークした場合に、このプロパティがマーケットプレイスポータルのサブスクライバーに対して必須になります。

既知の問題、制限事項、回避方法

原因

動的リストのプロパティは、サービスデザインからサービス提供に複製した場合、常に必須とマークされてしまいます。その結果、マーケットプレイスポータルのサブスクライバーに対して必須になります。

回避方法

動的データを生成するスクリプトを変更し、[選択なし]などの値を返すようにします。これにより、サブスクライバーは、マーケットプレイスポータルでのプロパティの必須設定に合うように選択できるようになります。

[サービストポロジの表示] ページで、サブスクライバーには非表示にするべきプロパティが表示される

QCCR1D175828

問題

マーケットプレイスポータルの [サービストポロジの表示] リンクで、サブスクライバーには非表示にするべきトポロジベースのサブスクリプションのプロパティが表示されます。特に `self`、`global_id`、`resource_pool_ref` などのプロパティには、プロビジョニングを行った HP Cloud OS リソースプロバイダーの URL が含まれているので、非表示にする必要があります。

原因

[自分のサービスの詳細] ページでは上記のプロパティを非表示にする例外リストを作成できますが、これと同じ機能は [サービストポロジの表示] ページには追加されていません。

回避方法

問題を回避する方法はありません。

インストールおよびアップグレードガイド

生成したPDFの書式の問題

問題

インストールおよびアップグレードガイド PDF を生成すると、次のような問題が発生します。

- 改ページで表の行が分割される場合、行の最初の列が、次の行の最初の列と結合されます。
- 例のテキストが右マージンで切り捨てられます。
- テキストが行末で文字化けします。
- ドキュメント内にある他のセクションへのリンクが破損しています。
- コンテンツに埋め込まれたアイコンが表示されないことがあります。

回避方法

インストールおよびアップグレードガイドの内容は、印刷ではなく Web ブラウザーで表示してください。

オンラインヘルプ

コンポーネントパレットのインポートとエクスポートで、クラウドサービス管理コンソールのヘルプにリソースバインドとリソース提供に関する情報が表示されない

QCCR1D177198

問題

クラウドサービス管理コンソールのヘルプには、次の内容の記載がありません。

- コンポーネントパレットのコンポーネントテンプレートに、リソース提供に対するリソースバインドがある場合、コンポーネントパレットをエクスポートすると、リソース提供の XML ファイルはコンポーネントパレットのアーカイブに保存されます。
- コンポーネントパレットのインポートでは、システム上に同名のリソース提供が存在しない場合は作成され、存在する場合は更新されます。このインポート動作は、コンポーネントパレットのインポートオプションが常に [更新] に設定されるのが原因です。

原因

Cloud Service Management Console のヘルプに情報が記載されていません。

回避方法

該当しません。

既知の問題、制限事項、回避方法

HP CSA API

コンテンツの切り捨てが原因でREST APIログインが失敗する

QCCR1D153699

問題

ユーザーREST API ルックアップ URL (`https://<ホスト>:<ポート>/csa/rest/login/<組織名>/<ユーザー名>`) で<ユーザー名>の後にスラッシュ (/) を付けない場合、<ユーザー名>の後ろの部分の文字が誤って削除されることがあります。たとえばユーザー名が `john.smith@xyz.com` の場合、`.com` の部分が削除されてしまうので、これによってエラーが発生します。

原因

末尾にスラッシュがない場合、ユーザー名のうち、最後に現れるピリオド (.) 以降の文字列が削除されます。

回避方法

次のいずれかの方法で回避できます。

1) REST API のルックアップ呼び出しで、末尾にスラッシュ (/) を追加します。

`https://<ホスト>:<ポート>/csa/rest/login/<組織名>/<ユーザー名>/`

例:

`https://<ホスト>:<ポート>/csa/rest/login/CSA-Provider/john.smith@xyz.com/`

2) 別のルックアップ URL を使用します。

`https://<ホスト>:<ポート>/csa/rest/login/<組織名>/userLookup?userName=<ユーザー名>`

例:

`https://<ホスト>:<ポート>/csa/rest/login/CSA-Provider/userLookup?userName=john.smith@xyz.com`

プリミティブの値を指定しないと値がデフォルトにリセットされる

QCCR1D152913

問題

ユーザーが REST API から PUT 要求を行う際に、プリミティブプロパティの値を指定しないと、プロパティがデフォルト値にリセットされます。

原因

アーティファクトの一部のプロパティは、Java でプリミティブ型を使用してモデル化されています。このために、REST API で PUT 要求を使用する際に問題が生じることがあります。REST API を使用して HP CSA インスタンスに PUT 要求が送信される際に、アーティファクトまたはその一部を表すデータは、Java オブジェクトに変換されます。Java オブジェクトのプリミティブ型プロパティは、常に値を持つ必要があります。これらのプロパティにユーザーが値を指定しない場合、要件を満たすためにデフォルト値が使用されます。

Java のプリミティブ型は次のとおりです。

- byte
- short
- int
- long
- float
- double
- char
- boolean

回避策

先に GET を呼び出し、GET の応答のうち必要なプロパティだけを変更します。この変更した応答を PUT 要求で送信します。

アーティファクトREST APIが、detail=FULLはサポートされないというエラーを返す

QCCR165193

問題

Artifact GET REST API を組織アーティファクトに対して呼び出す際に、`detail` パラメーターを指定しないと、`detail=FULL` は組織アーティファクトに対してサポートされないというエラーが返されます。

原因

`detail` パラメーターのデフォルト値 `FULL` は、組織アーティファクトに対しては無効になっています。これは、含まれるアーティファクトが多いと、返される応答が非常に大きくなるためです。

既知の問題、制限事項、回避方法

回避方法

クエリパラメーターとして "detail=BASIC" を指定します。

コンシューマー組織へのREST APIログインで大量のデータが返される

QCCR178125

問題

コンシューマー組織への REST API ログイン (たとえば、

`https://<CSA ホスト>:8444/csa/rest/login/CSA_CONSUMER/consumer`) では、マーケットプレイスポータルで組織に設定されているすべてのダッシュボードウィジェットのデータが返されるので、応答のサイズが大きく、要求が完了するまでに時間がかかります。

原因

XML 応答には組織のオブジェクトが含まれ、これにはその組織に適用されるカスタムウィジェットがすべて含まれています。

回避方法

この API が原因でパフォーマンスが低下する場合、ウィジェットの数と各ウィジェットのコンテンツを確認し、最小限のデータが返されるようにしてください。

HP CSAとの統合

HP ArcSight Logger

HP CSA `server.log`とArcSight Loggerの統合が正しく機能しない

QCCR1D156585

問題

`%CSA_HOME%\jboss-as-7.1.1.Final\standalone\log\server.log` と HP ArcSight Logger バージョン 5.2 または 5.3 の統合はサポートされていません。

原因

JBoss 7.1.1 と ArcSight Logger 5.2 または 5.3 を統合するには別のハンドラーが必要であり、現在は ArcSight Logger でサポートされていません。

回避方法

現在のところ、問題を回避する方法はありません。このハンドラーに関しては機能拡張要求が HP ArcSight Logger チームに提出されているので、製品リリース後に提供される可能性があります。機能拡張要求のステータスについては、HP サポート担当者にお問い合わせください。

HP ArcSight Loggerの構成エントリが`log4j.properties`に無い

QCCR1D156785

問題

HP ArcSight Logger で HP CSA を構成してから 3.10 にアップグレードすると、アップグレード後、ArcSight Logger との統合が正しく機能しなくなります。

原因

3.10 へのアップグレード時、`log4j.properties` ファイルが正しく更新されません。

回避方法

CSA 3.1 へのアップグレード後、次のファイルを開きます。

`%CSA_HOME%\jboss-as-7.1.1.Final\standalone\deployments\csa.war\WEB-INF\classes\log4j.properties`
次に示すように、ファイルの最後にある行を次のようにコメントアウトします。

```
#log4j.appender.cef1=com.hp.esp.arcsight.cef.appender.Log4jAppender
#log4j.appender.cef1.deviceVendor=HP
#log4j.appender.cef1.deviceProduct=CSA
#log4j.appender.cef1.deviceVersion=3.1
#log4j.appender.cef1.transportType=SYSLOG
#log4j.appender.cef1.hostName=192.x.x.x
#log4j.appender.cef1.port=515
#log4j.appender.cef1.layout=org.apache.log4j.PatternLayout
#log4j.appender.cef1.layout.ConversionPattern=%d{DATE} [%t] %-5p %x %C{1} : %m%n
#log4j.appender.cef1.appender.threshold=off
```

既知の問題、制限事項、回避方法

HP ArcSightとHP Operations Orchestration (HP OO) 10.xを統合できない

QCCR1D176942

問題

HP OO 10.x と HP ArcSight の統合はサポートされていないので、HP CSA-ArcSight の統合ホワイトペーパーで説明されていません。

原因

現在のところ統合はサポートされていません。

回避方法

HP OO 10.x と HP ArcSight の統合は、今後のリリースでサポートされる予定です。

HP Cloud OS

HP Cloud OS 1.2 でインスタンスを終了しても、HP CSAマーケットプレイスポータルやクラウドサービス管理コンソールに反映されない

QCCR1D176653

問題

すでにプロビジョニングが完了している HP Cloud OS インスタンスを HP Cloud OS 管理ダッシュボードで変更すると、変更内容はクラウドサービス管理コンソールやマーケットプレイスポータルには反映されません。たとえば、HP Cloud OS のインスタンスを HP Cloud OS 管理ダッシュボードから終了しても、マーケットプレイスポータルと、クラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域で、インスタンスのステータスは [アクティブ] と表示されます。

原因

HP Cloud OS でアクティブなインスタンスに直接行った変更は、HP CSA に同期されません。

回避方法

HP CSA でプロビジョニングしたサービスのサブスクリプションをキャンセルまたは変更する場合には、HP Cloud 管理ダッシュボードではなく、マーケットプレイスポータルやクラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域を使用してください。

HP CSAを再起動すると、SSLを有効にしたHP Cloud OSリソースプロバイダーでトポロジデザインを作成またはプロビジョニングできなくなる

QCCR1D178194

問題

クラウドサービス管理コンソールの [リソース] 領域で HP Cloud OS リソースプロバイダーを設定し、その HP Cloud OS リソースプロバイダーが HTTPS サービスアクセスポイントを使用すると、プロバイダーの検証は成功し、そのプロバイダーを使用してトポロジベースのデザインを作成する操作と、そのプロバイダーを使用してサービスのプロビジョニングを行う操作が可能になります。ただし、Cloud OS リソースプロバイダーが使用する SSL 証明書が HP CSA に信頼されていない場合 (つまり、いずれの署名証明書も、HP CSA が使用する JRE の cacerts 信頼ストアにある証明書では信頼されない場合)、HP CSA が再起動し、エラーがログに記録されます。そのプロバイダーでは、トポロジデザインの新規作成やプロビジョニングは実行できなくなります。

原因

HP Cloud OS 以外のプロバイダーの場合、プロバイダーが SSL 証明書を返すと、cacerts キーストアに証明書の署名者が存在しなくても証明書は自動的に信頼されます。HP Cloud OS プロバイダーの場合、プロバイダーの証明書チェーンにある証明書のいずれかを、HP CSA が使用する JRE の cacerts 信頼ストアにインポートする必要があります。

回避方法

SSL サービスアクセスポイントを使用する HP Cloud OS リソースプロバイダーを使用するには、次の 2 つのオプションがあります (オプション 1 をお勧めします)。

- オプション 1 (推奨) - HP Cloud OS SSL 証明書 (またはこの証明書に署名したチェーン内にある証明書のいずれか) を、HP CSA の JRE の cacerts 信頼ストアにインポートします (証明書を信頼ストアにインポートする操作の詳細については、『HP CSA Configuration Guide』を参照してください)。
- オプション 2 - クラウドサービス管理コンソールの [リソース] 領域でリソースプロバイダーを編集し、[保存] をクリックすると、そのリソースプロバイダーでトポロジデザインを新規作成できるようになります。この変更は、HP CSA を次回再起動するまで有効になります。したがって、再起動後にリソースプロバイダーを再度編集する必要があります。

既知の問題、制限事項、回避方法

HP Matrix Operating Environment (HP MOE)

HP MOEサブスクリプションが "No server pools are available to user" というエラーで失敗する

QCCR1D147531

問題

MOE_COMPUTE_MT_3.20 または MOE_SCL_MT をベースにするサービスデザインのサブスクリプションが要求されると、OOフローで次のエラーが発生します。

```
No server pools are available to user
```

原因

HP Matrix Operating Environment には、次のような制約があります。v7.0 で API/CLI コマンドの正常な動作が保証されるのは、ユーザーが1つの組織に所属する場合のみです。

回避方法

詳細については、ホワイトペーパー『Multi-Tenancy in HP Matrix Operating Environment Infrastructure Orchestration 7.0』を参照してください。

HP Operations Orchestration (HP OO)

HP Cloud Service (HP CS) – OPENSTACKサービスのサブスクリプションが失敗し、状態が [保留中] と表示される

QCCR1D155141

問題

HP Cloud Service (HP CS) – OPENSTACK サービスのサブスクリプションが失敗すると、マーケットプレイスポータルではサブスクリプションのステータスが、[デプロイ中]の状態では [保留中] と表示されます。

原因

サブスクリプションのオーダー時に無効な組み合わせの入力が選択されています。HP Operations Orchestration (HP OO) – OPENSTACK の統合フローは、サブスクリプションのオーダー時に選択される入力の組み合わせが無効であってもエラーを返さず、実行時例外を発行することによってフローを終了します。このプロセスのステータスは HP CSA では更新されず、[デプロイ中]のままになり、サブスクリプションのステータスは [保留中] になります。

回避方法

現在のところ、問題を回避する方法はありません。この HP OO – HP CS の統合に関する不具合は、ID QCCR1D155146 で報告されています。

リソース同期アクションを実行するとHP OOでエラーメッセージが表示される

QCCR1D178109

問題

HP CSA で提供されている [VMware vCenter Sync Resource Capacity] OO フローは、クラウドサービス管理コンソールの [リソース] 領域にあるリソースプールでリソース同期アクションとして設定できます。このフローは現在 HP OO 10.02 では使用できません。使用すると次の HP OO ログエラーが発生します。

```
2014-01-07 02:57:43,697 [WorkerExecutionThread-5_165674252] (PluginAdapterImpl.java:176)
ERROR - com.vmware.vim25.ManagedObjectNotFound at
Sun.reflect.NativeConstructorAccessorImpl.newInstance0(Native Method)
```

原因

フローの不具合が原因です。

回避方法

クラウドサービス管理コンソールで、リソースプールに設定されているリソース容量を手動で更新します。

既知の問題、制限事項、回避方法

HP SiteScope (HP SiS)

サービスデザインMOE_COMPUTE_SITESCOPE_UCMDB_3.20のサブスクリプションをキャンセルしても、HP Operations Orchestrationで一部のHP SiteScopeモニターが削除されない

QCCR1D177099

問題

サービスデザイン MOE_COMPUTE_SITESCOPE_UCMDB_3.20 をキャンセルすると、HP Operations Orchestration (HP OO) 10.x で、HP SiteScope にデプロイしたモニターの中に削除されないものがあります。

原因

HP OO 10.01.001 の不具合です。10.10 で修正される予定です。

回避方法

HP SiteScope でモニターを手動で削除してください。

VMware vCenter

vCenterサービスデザインで、2つのライフサイクルアクションが同時に実行される

QCCR1D165889

問題

ライフサイクルエンジンでは、1つのライフサイクル移行の実行中は、他のライフサイクル移行を開始することはできません。しかし、マーケットプレイスポータルではこれが可能なので、ライフサイクルエンジンが予期しない動作をします。この問題は、フレックスインとフレックスアウトのオペレーションの一部として実行する vCenter ベースのサブスクリプションで発生します。

原因

vCenter ベースのサブスクリプションで、[サーバーの追加] パブリックアクションがタイムアウトしています。しかし、[サーバーの追加] がクリーンアップのために呼び出した [アンデプロイ] アクションは、まだバックグラウンドで動作しています。HP CSA はこのバックグラウンド処理を認識しないので、[サーバーの追加] アクションを続けて呼び出してしまいます。

回避方法

[vCenter Flex-in Server]/[vCenter Flex-out Server] フローのタイムアウトに大きい値を指定します。

[Flex-in Server] フローで次の手順を実行します。

1. HP Operations Orchestration Studio を開きます。
2. /Library/CSA/3.2/Providers/vCenter/vCenter Flex Server Count/Subflows/ の下にある [vCenter Flex-in Server] サブフローを開きます。
3. [Poll LCE] ステップを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
4. waitCounter の値を 120 にします (タイムアウトの分数の 2 倍)。
5. 変更内容を保存します。

/Library/CSA/3.2/Providers/vCenter/vCenter Flex Server Count/Subflows/にある [vCenter Flex-out Server] サブフローに対して、上記の手順 3~5 を実行します。

ご注意

©Copyright 2011-2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

機密性のあるコンピュータソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

Microsoft®および Windows®は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Oracle および Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Group の登録商標です。

RED HAT READY™ロゴと RED HAT CERTIFIED PARTNER™ロゴは、Red Hat, Inc.の商標です。

サポート

HP ソフトウェアサポート Web サイトを参照してください。

www.hp.com/go/hpsoftwaresupport

HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関して、連絡先などの詳細情報をご覧ください。HP ソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HP ソフトウェアサポート Web サイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポートケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。サポートアクセスレベルの詳細情報については、次の URL を参照してください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

HP Passport ID の登録は、次の場所で行います。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html> (英語サイト)